

第 7 号

えびなの教育

発行 年 3 回・12500 部
 編集・発行 海老名市教育委員会
 〒243-0492 海老名市勝瀬 175-1
 ☎046 (231) 2111

夏の暑さが残る 9 月、海老名市の小中学校では、夏休みを終えた子どもたちが元気に登校を始めました。今回は、夏休みに実施した事業や教育委員会からのお知らせを紹介します。



【写真】
 えびな文化財探求舎体験講座「まが玉作り」の様子

《主な内容》

- 1 面 えびな文化財探求舎体験講座
- 2 面 学校給食 地産地消の取り組み サマースクール
- 3 面 ひびきあう教育研究発表大会
教育委員会事務点検・評価報告書
- 4 面 いじめ・ネットトラブル相談窓口
教育長コラム

夏休み

えびな文化財探求舎体験講座を開催しました

～子どもたちが矢じり・まが玉作りを体験～



8 月 5 日～7 日、市役所で、えびな文化財探求舎「いにしえびとの道具箱～マガタマ、ヤジリをつくろう～」を開催しました。

これは、石器（矢じり）、まが玉などの製作を通じて、文化財を身近に感じてもらい、興味を持ってもらうことを目的に、毎年開催しているものです。

当日は、市内在住の小学生など 124 人が参加し、矢じりやまが玉を楽しそうに作っていました。参加した子どもたちからは、「石をみがくのが難しかったけど、面白かった」「昔の人々について興味を持った」「また来年も参加したい」などの声が聞かれました。



学校給食 地産地消の取り組み

～給食に市内産の米・野菜などを使用～



学校給食における地産地消については、昭和 48 年の学校給食センターでの給食提供開始時から、地場産品を使用することに積極的に取り組んでいます。

また、平成 24 年 9 月には「食の創造館」が開館し、これまで以上に、地産地消の取り組みの推進を図っています。

具体的には、米飯給食の増加に伴い、地場産の米を積極的に取り入れたほか、今年度からは、市内の遊休農地を利用して栽培された、県のブランド大豆「津久井在来大豆」を原料とした豆腐を使用した献立も、積極的に取り入れています（右写真参照）。

このほか、味噌や酒かすなどの加工品や、もやし・キャベツ・トマト・いちご・タマネギ・じゃがいも・ナスなど、地場産の穀類・野菜・果物も、収穫時期に合わせて献立に取り入れています。

また、給食の時間には、農家の方からの栽培時の苦労話や、「おいしく食べてほしい」という思いを込めた話を校内放送で紹介するなど、食育にも役立っています。

市教育委員会では、今後も、旬の時期に合わせて、海老名産のものを子どもたちに提供し、一番おいしい時期に食べてもらうよう努めていきます。

地場産物を取り入れた給食



ごはん

〈市内産の米〉

マーボー豆腐

〈市内産津久井在来大豆が原料の豆腐〉

イカともやしのあえもの

〈市内産のもやし〉

夏休み

サマースクールを実施しました

市教育委員会では、21世紀の教育理念として「びびきあう教育」を掲げ、その重点項目の一つに「学校・家庭・地域がびびきあう」ことを定めています。

これは、「保護者や地域の方々にも、子どもたちの教育にかかわること」を呼びかけ、「ともに学び育ちあう関係（学校・地域ネットワーク）」を築いていくことを意図しており、サマースクールは、そのための重要な活動の場の一つとして実施しています。

サマースクールは、学校を会場にしていますが、普段の学校と異なり、「地域の人々や自然とふれあい、さまざまなことを学ぶことができる」場となっています。また、地域の方々やPTA代表などから構成される実行委員会が企画・運営し、学校の先生や保護者ボランティアの皆さんの協力の下、開催されています。

◆各校独自の体験プログラムを実施

サマースクール開始当初は、市教育委員会が中心となってサマースクールの基礎を作りましたが、平成25年度からは、実行委員会の主体性・独自性を尊重し、各校の特性を生かすため、さまざまな創意工夫を行うようになってきました。

今年度は、学区の中学生による吹奏楽の演奏、市内高校生による和太鼓演奏のほか、地域の方々を講師に迎え、日ごろ学ぶことができない地域の伝統芸能・工作・スポーツ・科学実験・音楽・芸術鑑賞などを実施し、延べ約1万1千人の子どもたちが参加しました。



【写真左】カローリングの様子



【写真右】手作りおもちゃ体験の様子





ひびきあう教育研究発表大会を開催

～教育実践や調査研究などを発表～

8 月 20 日、市文化会館大ホールで「ひびきあう教育研究発表大会」を開催しました。

この大会は、教育課題についての教育実践や、調査研究等の発表を通して、教育関係者だけではなく、保護者や一般市民の方々が、共に海老名の教育について考えることを目的としています。平成 15 年度から開催しており、今年で 12 回目を迎えました。

当日は、市立小・中学校の先生をはじめ、市内の幼稚園・保育園・高等学校の先生、各小・中学校の保護者、学校評議員、一般市民の総勢 345 人が出席しました。

会場では、平成 25 年度のひびきあう教育研究指定校の取り組みや成果が発表されました（下表参照）。

また、市教育委員会が策定した「えびなっ子しあわせプラン」についての説明を行いました。

最後に、帝京大学教職大学院客員教授の矢野英明先生から、「知・徳・体のそろった素晴らしい発表でした。学校の活性化の原動力は校内研究なので、今後もこのような研究をぜひ続けてください」という講評をいただき、盛会のうちに終了することができました。



～当日の発表内容～

【柏ヶ谷小学校】

「お互いを認め合える子の育成をめざして～道徳教育を通して～」

【東柏ヶ谷小学校】

「よく考えて自ら取り組む児童の育成
～6年間を見通したゴール型運動～」

【海老名中学校】

「活力がつく指導方法の研究」

教育委員会事務

点検・評価報告書を 公開しています

を持つ方々の意見や助言を得た上で、教育委員会が評価・作成するものです。

今回は、市の教育理念である「ひびきあう教育」の推進に向けた事業から、8 施策 17 事業を抽出し、評価を行いました（右表参照）。多様な教育の展開、青少年の育成など、教育委員会の事業内容と、その効果について確認できますので、ぜひご覧ください。

報告書は、市役所・市ホームページで公開しています。



市教育委員会では、毎年、教育行政事務の内容について点検・評価を行い、その報告書を作成しています。

これは、前年の事業執行状況について、教育に関する学識・経験

評価対象 8 施策

- 1 ひびきあう教育の推進
- 2 教育環境の充実
- 3 教育支援体制の充実
- 4 子どもの居場所づくり
- 5 青少年の健全育成
- 6 学校施設の整備・充実
- 7 図書事業の充実
- 8 文化財の保護と活用



いじめやネットトラブル などの相談窓口



いじめに 係る相談

平成 26 年度中に「海老名市教育支援センター」
として移転・新設します。

《海老名市青少年相談センター》

☎046-234-8700

☎046-234-8762 《こども専用
相談ダイヤル》

受付時間 月～金 9時～16時30分
(土・日・祝日・年末年始を除く)

教育支援センター新設に伴い、「いじめ」に
特化した相談ダイヤルを開設し、土曜の午
前にも対応できるようにする予定です。

《神奈川県立教育相談センター》

いじめ110番

☎0466-81-8111

受付時間 24時間・毎日受付



市青少年相談センターやその他機関では、いじめやインターネット利用に伴うトラブルなどに悩むお子さんや保護者の方などが相談できる窓口、サイトを開設しています。
お一人で悩んでいる方など、ぜひご利用ください。

いじめ・非行・犯罪被害・ 人権に係る相談

《神奈川県警察少年相談・保護センター》

☎0120-45-7867

☎045-641-0045

受付時間 月～金 8時30分～17時15分
(土・日・祝日・年末年始を除く)

《横浜地方法務局人権擁護課》

☎0120-007-110

受付時間 月～金 8時30分～17時15分
(土・日・祝日・年末年始を除く)

ネットトラブル等に係る相談

《神奈川県教育委員会

携帯電話の安全利用のためのサイト》

携帯電話でアクセスすると、各
種相談窓口の電話やサイトへ直接
つながるように設定されています。



<http://www.pref.kanagawa.jp/mb/f100021/>

《消費者ホットライン》

☎0570-064-370

教育長コラム

～第4回「学校」～



学校は、何をするとところでしょう。

子どもたちが「将来のしあわせ」のために、必要な力を身につけるための場です。そのための計画的な教育の場です。

しかしながら、子どもの教育は学校だけで担うことはできません。家庭の教育、地域の教育が不可欠です。学校・家庭・地域がそれぞれの役割を果たし、その三者の力を学校に結集しなければならないと私は考えています。

「学校は敷居が高い」とよく言われますが、学校は地域のシンボルとなる公共施設であり、子どもたちだけでなく、大人たちも集える場でなければならないと思うのです。

子どもたちのために、学校に大人たちが集う、地域ごとの「おらが学校」を私はめざしています。

子どもたちの成長はもちろん、大人たちも、ともに成長する場としての「おらが学校」を私はめざしています。

学校は、みんなが集い成長する教育の場です。



次号の「えびなの教育」は1月発行です